

5月のみどころ

金谷幻の滝

16年6月に再発見、「金屋幻の滝」と名付けて、整備を開始。3本の滝はそれぞれの沢水を集めて流れており、水量は多くないが、1枚岩に見える大きな岩の表面全体を潤して流れ落ちている

藤の花

近畿地方以西の本州、四国、九州に自生。つるは右肩上がりの右巻き、長さは20mを越すほど大きくなります。今年は約2週間早く、すでに終盤です。



万葉集中藤を詠んだ歌は26首。桜の46首には劣りますが、春の桜から初夏の藤へと万葉人の季節を感じる視線が移り変わっているのがうかがえます。

藤で忘れてはならないのは、藤の繊維で織った布。強く防水に優れていることから、後の時代まで作業着として使われています

藤は神聖で霊力のある植物とされていました。稲穂を連想される花穂の揺れが豊作を念じ予兆する木としての意味を持つからです。

種子散布に関しては、上述の通りに乾燥すると鞘が二つに裂開し、それぞれがよじれることで種子を飛ばすが、この際の種子の飛ぶ力は大変なもので、当たって怪我をした人が実在するという。また寺田寅彦は、種子が莢から飛び出して障子に当たったことから興味を持ち、実験によって初速を計算し、秒速10mで飛んでいくこと割り出している

矢竹の花

- 古沢用水添いに矢竹(と思われる)花が咲いています。
- 武将が地上に刺した矢がヤダケの竹林になったという伝説が残るが、本州、四国及び九州の山野に自生するヤダケ属のササで、棹の節が低く、節間が長いのが特徴。「矢竹」の名前のとおり、かつては矢柄(矢の棒の部分)に、現代では釣竿や庭木として使われる。



その他 花をつけているもの

- エゴノキ 白い花のつぼみ
- タニウツギ ピンク
- ハウノキ 白
- トチノキ(マロニエ) 白
- キリ ピンク 五七の桐
- ウワミズザクラ終盤



波波迦の木はウワミズザクラ(上溝桜)の

古名で、古来より「亀トキボク」という占いで使用されています。笛吹神社由来